

## 年頭所感



学校法人 ホンダ学園  
ホンダテクニカルカレッジ 関東  
校長 山田 幸昌

新年明けましておめでとうございます。今年度新成人となられた学生諸君おめでとうございます。年末の総選挙では多くの学生が国の方向性を決める投票を行ったことと思います。成人とは、自身の行動の自由度が大きくなる反面、その行動の結果には責任が伴う。これを自覚しながらさらに成長していくことを期待しています。

年初に当たり、皆さんには、この一年の夢、目標を決め、それを実現するための具体的な道筋を描いてほしいと思います。ただ歩いていても富士山の頂上に立つことは出来ません。頂上に立つことの明確な目標があればこそ、高みに立つことができるのです。そしてその道筋が具体的であれば目標の実現の可能性が高まります。学園の目標は、皆さん全員が自分自身の夢を実現させるステージに立てること、そしてそこで活躍できるスキルをしっかりと習得できることです。皆さんが望む企業に就職し、整備系学科であれば、全員が国家試験に合格し、開発系学科であれば卒業制作を通して開発プロセスを習得していくことです。学園は皆さんの夢実現のために強力にサポートしていきます。日々の授業はもちろんクラブ活動やボランティア活動などに全力で取り組み、実りある充実した一年にしていきましょう。

## アメリカホンダ海外研修



アメリカホンダ研修風景  
施設の見学では置いてある部品や車両を自由に見ることが出来、質問する時間もありました



2Wayミーティングの様子

11月10～11月16日、アメリカ海外研修を実施いたしました。グローバルな視点を高めることを目的に、アメリカの自動車ビジネスとアメリカにおけるホンダの企業

活動を学習する為、アメリカホンダやその研究施設、現地ディーラーを訪問しています。今年もアメリカホンダでは「2Wayミーティング」を実施。

現地従業員の方と一緒にアメリカや自動車文化にかかわる質疑応答を中心に英語によるコミュニケーションを体験しました。2Wayミーティングは選択制でしたが全ての学生が参加。初めての体験をとて楽しんでいました。

そして、HPD(ホンダパフォーマンスデベロップメント)では、レースマシンの開発プロセスなどを見学。HPDは、北米におけるHondaのレース活動をサポートするための会社なのですが、普通ではまず入ること出来ない研究所に足を踏み入れ、レース活動に関する話を聴いたり、レーシングエンジンの部品を手にとって見ることもできました。

そして毎年のことですが、現地ディーラーを訪問した学生たちは、驚きの光景を目にすることがあります。まずはとても広いサービスピット。日本では見られない広さです。さらに、日本のディーラーには無い、アメリカらしいサービスも充実。自動車社会アメリカに思わず圧倒されてしまいました。



## ホンダ学園 賛助会 企業セミナー

12月4日～5日、平成26年度ホンダ学園賛助会企業セミナーが行われました。

今年度は74社の企業様をお迎えして、ホンダ学園の学生に向けた企業説明会を実施していただきました。参加した学生のほとんどが、初めての企業説明会ということで、緊張することもあったようですが、来年から始まる就職活動に備え、企業や仕事に関する具体的な情報を得ることが出来ました。ご参加いただきました企業様におかれましては、学生たちへ大変貴重な機会をご提供いただき誠にありがとうございました。



## 国際科インターンシップ 終了報告会



12月5日、9日の2日間、それぞれオーストラリア(AU)のメルボルン、ニュージーランド(NZ)のオークランドにおいて3月から現地研修を行った国際自動車整備科2年生9名(AU:3名/NZ:6名)の研修報告会が行われました。この報告会は、9ヶ月間の研修で学んだ様々な事柄について15分間のスピーチを英語で行うもので、お世話になったホンダAU、ホンダNZの社長を始めとする皆さんの出席の下、研修を締め括るイベントとして毎年盛大に行われています。

学生たちは、日本語より先に出てくるようになった流暢な英語で自分の研修を振り返り、出席者の皆さんに感謝の言葉を伝えていました。中には極度の緊張から言葉を忘れ、出席者の温かい突っ込み(?)で我に返った学生もありましたが、発表終了後は「今年の学生はこれまでで最も素晴らしい」という言葉を多数頂き、とても充実した報告会になりました。

帰国後の彼らには就職活動と整備資格取得が待っています。今回の経験を活かし、これらの難関を乗り越えて欲しいと思います。

## 第34回ホンダ四輪サービス技術コンクール全国大会



10月29日、ホンダ学園関東校にて、第34回ホンダ四輪サービス技術コンクール全国大会が開催されました。コンクールでは「プロフェッショナル」「サービスマン」「エンジニアコース」の3種目が行われ、日頃から技術力と接遇力を磨き努力した精鋭が全国より集まり、2014年の日

本一が決定いたしました。出場された選手の中には、ホンダ学園(関東・関西)の卒業生がとて多く、今年度の受賞者一覧の中にもその名前が並びました。会場で競技を見学していた学生の皆さんも卒業後はぜひ、コンクール出場を目指し、技術を磨いて下さい。



## ホンダ学園の学園祭 夢走祭

むそうさい



9月23日、ホンダ学園の学園祭「夢走祭(むそうさい)」を開催いたしました。

昨年同様、トヨタ・日産・ホンダのメーカー校学生による技能コンテストをはじめ、大人気のトリアルバイクショーなど様々なイベントが行われました。

MotoGPでチャンピオンを獲得したマルク・マルケス選手のマシンや、HondaがF1で初優勝したときの歴史的なマシン、本田技術研究所のご好意によりとても珍しい「ボケバク」の展示なども行われ、終日大勢の方でにぎわいました。来年の夢走祭にご期待下さい。



## ツインリンクもてぎ レース観戦ツアー

ツインリンクもてぎで開催されたMotoGP日本グランプリとスーパーGT第8戦の観戦に行っていました。

MotoGPでは、ランキングトップを独走するマルク・マルケス選手(Honda)のチャンピオン獲得を見る為、120名の学生がバスツアーに参加しました。

また今年は、ツインリンクのご好意で、なんとA指定席に学生たちをご招待いただきました。第1、2コーナーや第3、4コーナーに最終のピクトリコーナリーまでを見渡せる特別席でスリリングなレース展開を楽しむことが出来ました。



## 関東ロードミニ選手権 最終戦

## ミニバイク部

12月14日、埼玉県にある桶川スポーツランドにて「関東ロードミニ選手権 最終戦」が開催され、トリアルアウトクラスに出場した矢原くんが2位表彰台を獲得いたしました。

また、惜しくも表彰台は逃しましたが、加藤くんが4位、阿川くんが5位に入賞、佐野くんも14位で完走しています。

来年もミニバイク部の応援を宜しくお願いします。



## ふじみ野市 2部リーグ 準優勝

## 軟式野球部



11/2 sun

ふじみ野市運動公園の野球場にて、ふじみ野市スポーツ大会の軟式野球大会2部の決勝戦が行われ、準優勝の結果をおさめました。決勝の相手は、2部リーグの強豪「ふじみん」(ふじみ野市役所チーム)で、2・1で迎えた最終回、1点を追うホンダ学園は2アウト走者2塁3塁という絶好のチャンスを迎えます。バッターの村上選手が打った打球はセンター前ヒットとなり、同点のランナーがホームを目指しましたが、センターからの送球によりタッチアウト、2対1でゲームセットとなりました。最後の最後まで手に汗握る試合展開となりました。

## オフロード部



10/12 sun

キャンオフ最終戦 1位 獲得  
クラス総合

長野県大町市にあるワイルドクロスカークGAAで開催されたキャンパスオフロード全国大会に参加しました。シーズン最後のレースは全国大会の名にふさわしく、西日本エリアの大学からの参加も多数あり、部員たちも普段以上に熱が入っていました。レースは、スプリント、エンデューロに合計7名の部員が参加しましたが、スプリントではクラス総合1位、エンデューロでもクラス5位の結果を残すことができました。

## エコマイレージチャレンジ 第34回 全国大会

## エコラン部

TeamA



グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校クラス)に出場したホンダ学園エコラン部は、TeamA、TeamBの2チームが出発し、TeamAが11位の成績を残しました。

9月28日、ツインリンクもてぎで本田宗一郎杯Hondaエコマイレージチャレンジ2014第34回全国大会が開催されました。全国各地の中学や高校、大学、短大、高専、専門学校そして、社会人のチームが毎年多数参加しており、今年は全389チームが参加しました。

## 二輪車安全運転全国大会

## ジムカーナ部



8月23日、「第47回二輪車安全運転全国大会」が三重県の鈴鹿サーキットで開催され、一般Bクラスに出場した、研究科4年高梨遼太郎くんが2位(970点)の好成績を収めました。また、都道府県別の団体成績では、埼玉県がトップの3900点で優勝を果たしました。

埼玉県代表の皆さん、優勝おめでとうございます！そしてお疲れ様でした！



8/13 wed

富士スピードウェイ K4-GPクラス 3位

## 自動車整備部

富士スピードウェイで開催された軽自動車の耐久レース「K4-GP」に出場した自動車整備部は、5時間を完走しクラス3位を獲得いたしました。マシンは「Honda N360」。40年以上前の古いクルマですが、学生がレストアしました。その後、電気自動車に改造され「Ene-1 GP」で活動を開始。そして今年から、舞台を「K4-GP」に変更しハイブリッド車に改造した「N360 HV」で活動しています。



## メカニック部

## 鈴鹿8時間耐久メカニックサポート 大会結果

15位	#40 Honda 浜松エスカルゴ&PGR&ホンダ学園関東
23位	#41 Honda 狭山レーシング&浜松&ホンダ学園関東
28位	#28 チームホンダテクニカルカレッジ関西 姉妹校

7月24〜27日、鈴鹿8時間耐久レースに参戦するHondaの従業員チームに同行しメカニックサポートを行いました。放課後はピット練習を繰り返して、迅速なタイヤ交換ができるようになるまで、何度も何度も練習をしてきました。本番は緊張の連続でしたが、とても貴重な体験をすることができました。Honda従業員チームの皆様関係者の皆様、今年もありがとうございました。